

青字は量の見込みの推計上必要な項目、赤字は今回、追加した項目

設問No.	分類	調査項目	次世代	必須項目	前回設問No.	継続調査項目	理由
問1	居住地区	居住地区	問5	○	問1	○	
問2	子供の状況と家族	子供の生年月	問2	○	問2	○	
問3		宛名の子を含めたきょうだい数、末子の生年月	問3	○	問3	○	
問4		回答者の続柄	問1	○	問4	○	
問5		回答者の配偶者の有無		○	問5	○	
問6		子育て(教育を含む)を主に行っている者	問6	○	問6	○	
			子育て(教育を含む)に、影響が大きいと思われる環境			問7	×
問7	子供の育ちをめぐめる環境	日頃、子供をみてもらえる親族・知人の有無	問7	○	問8	○	
		祖父母等の親族に子供をみてもらっている状況	問7-1		問8-1	×	量の見込みの算出には必須ではない。
		友人・知人に子供をみてもらっている状況	問7-2		問8-2	×	量の見込みの算出には必須ではない。
問8		気軽に相談できる人、場所の有無	問45		問9	○	
問8-1		気軽に相談できる先			問9-1	○	
問9		周囲(身近な人、行政担当者など)に希望するサポート	問46		問10	○	
問10	平日の定期的な保育事業の利用状況	「定期的な教育・保育」の利用の有無	問21	○	問11	○	
問10-1		定期的にご利用している教育・保育事業の種類、時間	問21-1(不定期含む)	○	問11-1	○	
		定期的にご利用している教育・保育の日数、時間(1)現在、(2)希望	問21-2 現在のみ	○	問11-2 (1),(2)	×	日数、時間(現在、希望)については、問10-1と問11に統合
		現在、利用している教育・保育事業の実施場所			問11-3	×	ニーズ調査を実施しなくても把握できる。
		定期的に教育・保育の事業を利用している主な理由	問21-3		問11-4	×	保育園は就労、幼稚園は教育という結果になる。
		定期的に教育・保育の事業を利用していない理由	問21-4		問11-5	×	量の見込みの算出には必須ではない。他の質問からある程度の推測は可能。
問11		定期的にご利用を希望する教育・保育事業の種類、希望時間、希望時期	問22	○	問12	○	
		教育・保育事業の利用を希望する場所			問12-1	×	保育については、委託児童数から状況を把握できる。他市を利用したい保護者のニーズに応えるのが難しい
問12	地域の子育て支援事業の利用状況	地域子育て支援拠点事業の利用状況(利用回数)	問35	○	問13	○	
問12-1		利用していない理由	問35-1		問13-1	○	選択肢を「すべてに○」から「もっともあてはまるもの一つに○」に変更。
問13		地域子育て支援拠点事業の利用希望(利用回数)	問36	○	問14	○	
問14		市の子育て支援に関する事業の周知度、利用経験、利用意向	問37	△	問15	○	
問14-1		市の子育て支援に関する事業の満足度					
問15		子育てに関する情報の入手方法			問16	○	
問16(1),(2)	長期休暇中の保育事業の利用希望	(1)土曜日、(2)日曜日・祝日の事業の利用希望(時間帯)	問23	○	問17 (1),(2)	○	
問16-1		毎週土曜日、日曜日・祝日ではなく、たまに利用したい理由			問17-1	○	選択肢を「すべてに○」から「もっともあてはまるもの一つに○」に変更。選択肢を見直す。例)「月に数回仕事」⇒「仕事のため」
問17		【幼稚園利用者】長期の休暇期間中の事業の利用希望(時間帯)		○	問18	○	
問17-1		長期休暇期間中毎日ではなく、たまに利用したい理由			問18-1	○	選択肢を「すべてに○」から「もっともあてはまるもの一つに○」に変更。選択肢を見直す。例)「月に数回仕事」⇒「仕事のため」
問18	病気の対応	この1年間に、病気やケガで通常の事業が利用できなかったことの有無	問26	○	問19	○	
問18-1		事業が利用できなかった場合のこの1年間の対処方法(日数)	問26-1	○	問19-1	○	
問18-2		病児・病後児の保育施設等の利用希望(日数)	問26-2	○	問19-2	○	
問18-3		病児・病後児保育を利用していない理由					
		子供を預ける場合の望ましい事業形態			問19-3	×	量の見込みの算出には必須ではない。現状で病児・病後児の体制が整っている。
		病児・病後児の保育施設等を利用したいと思わない理由			問19-4	×	量の見込みの算出には必須ではない。
	仕事を休んで子供をみたいと思ったか(日数)			問19-5	×	量の見込みの算出には必須ではない。	
	休んで子供をみることは非常に難しいと思う理由			問19-6	×	量の見込みの算出には必須ではない。	
問19	保育不特定時期や利用か保育泊等を併用	不定期にご利用している事業(1年間の利用日数)	問27	○	問20	○	
問19-1		不定期にご利用していない理由			問20-1	○	選択肢を「すべてに○」から「もっともあてはまるもの一つに○」に変更。
問20		不定期な教育・保育事業の利用希望の有無(事業内容、年間利用日数)		○	問21	○	
		子供を預ける場合の望ましい事業形態			問21-1	×	量の見込みの算出には必須ではない。前回、保育園や幼稚園等での利用を84%が望んでおり、現状でニーズに対応できている。
問21		泊りで家族以外に預けなければならない状況の有無(対処方法、年間日数)	問29、29-1	○	問22	○	
問21-1		親族・知人にみてもらった場合の困難度	問29-2	△	問22-1	○	
問22	過放課後	小学校低学年小学生の放課後の過ごし方の希望(日数、学童クラブは利用時間)	問38	○	問23	○	
		小学校高学年の放課後の過ごし方の希望(日数、学童クラブは利用時間)			問24	×	問22に統合し、問21を小学生の放課後の過ごし方とする。
問23		(1)平日、(2)土曜日、(3)日曜日・祝日、(4)長期休暇の学童クラブの利用希望(年齢、時間)			問25 (1),(2),(3)	○	
		長期休暇期間中の学童クラブの利用希望(時間)			問26	×	問23に統合。

設問No.	分類	調査項目	次世代	必須項目	前回設問No.	継続調査項目	理由
問24(1)	保護者の就労状況	保護者の現在の就労状況(1)母親	問8(2)	○	問27(1)	○	
問24(1)-1		1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間」(残業時間含む)	問8(2)	○	問27(1)-1	○	
		家を出る時間と帰宅時間	問8(2)		問27(1)-2	×	問10-1から必要な保育時間は推測可能なため削除。
問24(2)		保護者の現在の就労状況(2)父親	問8(1)	○	問27(2)	○	
問24(2)-1		1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間」(残業時間含む)	問8(1)	○	問27(2)-1	○	
		家を出る時間と帰宅時間	問8(1)		問27(2)-2	×	問10-1から必要な保育時間は推測可能なため削除。
問25(1),(2)	育児休業や職場の両立支援制度など	フルタイムへの転換希望(1)母親,(2)父親	問8(2)	○	問28(1),(2)	○	
問26(1),(2)		就労希望(1)母親,(2)父親	問9、9-1、3母のみ	○	問29(1),(2)	○	
問27		育児休業給付、健康保険・厚生年金保険の保険料免除制度の認知			問30	○	
問28		育児休業の取得状況(取得していない場合は理由)	問14		問31	○	
問28-1(1),(2)		育児休業取得後、職場に復帰したか(1)母親,(2)父親			問31-1(1),(2)	○	
問28-2(1),(2)		育児休業から職場に復帰したタイミング(1)母親,(2)父親			問31-2(1),(2)	○	
問28-3(1),(2)	育児休業からの職場復帰時の子供の年齢(実際、希望)(1)母親,(2)父親	問14-1		問31-3(1),(2)	○		
問28-3-1(1)①,②(2)①,②	実際の復帰と希望が異なる理由(1)早く復帰した方,(2)遅く復帰した方,①母親,②父親			問31-3-1(1)①,②(2)①,②	○		
	3歳まで育児休業休暇制度があった場合の希望取得期間(1)母親,(2)父親			問31-4(1),(2)	×	問28-3に統合。	
	職場復帰後の短時間勤務制度の利用の有無(1)母親,(2)父親			問31-5(1),(2)	×	短時間勤務の有無は事業所によるため、回答者が市内在勤者とは限らないので、削除。	
	短時間勤務制度を利用しなかった理由(1)母親,(2)父親			問31-5-1	×	短時間勤務の有無は事業所によるため、回答者が市内在勤者とは限らないので、削除。	
問28-4(1),(2)		現在も育児休業中の方で、子供が1歳になったときに必ず預けられる事業等があれば、1歳になるまで育児休業を取得するか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰するか。(1)母親,(2)父親→育児休業中の方の取得予定と希望時期。			問31-6(1),(2)	○	
問29	や子育て状況	世帯の現在の暮らし向き					
問30		生活するうえでの不安や悩み					
問31		子どもに夕食を用意する頻度					
問32		子どもの夕食の状況					
問33		子どもとの関係					
問34		食事の提供や学習支援の場への参加希望					
問35	子育てに等対する意	子育てを楽しんでいるか、辛いと感じるか	問39		問32	○	
問36		子育ての楽しさ、やりがい	問40		問33	○	
問37		子育てに関して、不安や負担を感じているか	問41		問34	○	
問38		居住地の地域における子育ての環境や支援への満足度			問35	○	
問39		子育てに関する悩み、気になること	問42		問36	○	
問40		市に望む子育て支援策					
問41		子育ての環境や支援に関する自由意見	問47		問37	○	

ニーズ調査項目一覧(国、前回調査票との対比) ～就学児童調査票～

若干異なる調査項目

青字は量の見込みの推計上必要な項目、赤字は今回、追加した項目

設問No.	分類	調査項目	次世代	必須項目	前回設問No.	継続調査項目	理由
問1	居住地区	居住地区	問5	○	問1	○	
問2	子の状況と家族	子供の学年			問2	○	
問3		宛名の子を含めたきょうだい数、末子の生年月	問3		問3	○	
問4		回答者の続柄	問1	○	問4	○	
問5		回答者の配偶者の有無		○	問5	○	
問6		子育て(教育を含む)を主に行っている者	問6	○	問6	○	
問7		子供の育ちをめぐめる環境	日頃、子供をみてもらえる親族・知人の有無	問7		問7	○
	祖父母等の親族に子供をみてもらっている状況		問7-1		問7-1	×	量の見込みの算出には必須ではない。
問8	友人・知人に子供をみてもらっている状況		問7-2		問7-2	×	量の見込みの算出には必須ではない。
問8-1	気軽に相談できる人、場所の有無		問36		問8	○	
問9	気軽に相談できる先				問8-1	○	
		周囲(身近な人、行政担当者など)に希望するサポート	問37		問9	○	
問10	地域の支援事業の活用状況	子育てに関する情報の入手方法			問10	○	
問11	病気の対応	この1年間に、病気やケガで学校を休まなければならなかったことの有無			問11	○	
問11-1		事業が利用できなかった場合のこの1年間の対処方法(日数)	問18-1	○	問11-1	○	
問11-2		病児・病後児の保育施設等の利用希望(日数)	問18-2	○	問11-2	○	
問11-3		病児・病後児保育を利用していない理由					
		子供を預ける場合の望ましい事業形態			問11-3	×	量の見込みの算出には必須ではない。現状で病児・病後児の体制が整っている。
		病児・病後児の保育施設等を利用したいと思わない理由			問11-4	×	量の見込みの算出には必須ではない。
		仕事を休んで子供をみたいと思ったか(日数)			問11-5	×	量の見込みの算出には必須ではない。
	休んで子供をみることは非常に難しいと思う理由			問11-6	×	量の見込みの算出には必須ではない。	
問12	時預かり宿の教育の伴う保育	家族以外に一時的に預けたことの有無(理由、年間日数)			問12	○	
問13		一時預かりの利用意向(年間日数)			問13	○	
問14		泊りで家族以外に預けなければならない状況の有無(対処方法、年間日数)	問21、21-1	○	問14	○	
問14-1		親族・知人にみてもらった場合の困難度	問21-2	△	問14-1	○	
問15		ファミリー・サポート・センター利用の有無(日数、時間)			問15	○	
問15-1		ファミリー・サポート・センター利用の目的			問15-1	×	「利用の目的」を「利用しない理由」に変更。
問16		ファミリー・サポート・センター今後の利用希望(日数、時間)			問16	○	
問17	過放課後の過ごし方	現在の放課後の過ごし方(日数、学童クラブは利用時間)・過ごし方の希望			問17	○	
		放課後の過ごし方の希望(日数、学童クラブは利用時間)			問18	×	問17に統合
問18		(1)平日、(2)土曜日、(3)日曜日・祝日、(4)長期休暇の学童クラブの利用希望(年齢、時間)			問19	○	
		長期休暇期間中の学童クラブの利用希望(時間)			問20	×	問18に統合
問19(1)	保護者の就労状況	保護者の現在の就労状況(1)母親		○	問21(1)	○	
問19(1)-1		1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間」(残業時間含む)			問21(1)-1	○	
		家を出る時間と帰宅時間			問21(1)-2	×	問18から必要な学童クラブの利用時間は把握可能。
問19(2)		保護者の現在の就労状況(2)父親		○	問21(2)	○	
問19(2)-1		1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間」(残業時間含む)			問21(2)-1	○	
		家を出る時間と帰宅時間			問21(2)-2	×	問18から必要な学童クラブの利用時間は把握可能。
問20(1),(2)		フルタイムへの転換希望(1)母親、(2)父親		○	問22(1),(2)	○	
問21(1),(2)	就労希望(1)母親、(2)父親		○	問23(1),(2)	○		

設問No.	分類	調査項目	次世代	必須項目	前回設問No.	継続調査項目	理由
問22	な時育 立と問児 支職勤休 場務業 の制や 度両度福	育児休業給付、健康保険・厚生年金保険の保険料免除制度の認知			問24	○	
問23		育児休業の取得状況(取得していない場合は理由)			問25	○	
		育児休業取得後、職場に復帰したか(1)母親、(2)父親			問25-1 (1),(2)	×	量の見込みの算出には必須ではない。
問24	や子 生 育 活 て 状 環 境 況 境	世帯の現在の暮らし向き					
問25		生活するうえでの不安や悩み					
問26		子どもに夕食を用意する頻度					
問27		子どもの夕食の状況					
問28		子どもとの関係					
問29		食事の提供や学習支援の場への参加希望					
問30	子 育 て に 識 に 等 対 す る 意	子育てを楽しんでいるか、辛いと感じるか	問30		問26	○	
問31		子育ての楽しさ、やりがい	問31		問27	○	
問32		子育てに関して、不安や負担を感じているか	問32		問28	○	
問33		居住地の地域における子育ての環境や支援への満足度			問29	○	
問34		子育てに関する悩み、気になること	問33		問30	○	
問35		市に望む子育て支援策					
問36		子育ての環境や支援に関する自由意見	問38		問31	○	